

平成30年（2018年）11月27日（火曜日）

銅合金の鑄造・鍛造品メーカーの大和合金（本社・東京都板橋区、社長・萩野源次郎氏）は内閣府製作の「経営デザインシート」Ⅱ写真Ⅱを採用している。シートは経営資源やビジネスモデル、提供する価値などを見える化。将来のあるべき姿や、そこまでの道のりなどを描く内容となっている。長期戦略の策定や事業継承に貢献するもので、同社では10年後を見据えた課題解決などに役立てている。

大和合金での採用は萩野社長がシート製作に携わったことが契

## 大和合金 経営に「デザインシート」採用 10年後の姿や道のり描く



や経営方針 夫が凝らされている。など企業活動の根幹部分から、経営資源や事業ポートフォリオ、外部環境や課題までさまざまな項目が盛り込まれており、

現在と将来のあるべき姿を分かりやすくまとめる。さらに長期戦略は現在と将来を見比べ、必要経営資源や課題解決策を書き込んで策定。今と未来、実現への道のりすべてをシート1枚で一覧できる工

シートは戦略策定や事業継承に加えて社員へのベクトル合わせにも活用可能。萩野社長は「全社員が同じ目標に向け全力を注ぐために役立てたい」と期待している。シートは内閣府のサイトからダウンロードできる。

機。知的財産に関する内閣府のタスクフォースに参画し「長期的な企業の繁栄には自らの価値を改めて見つめることが不可欠」（萩野社長）と結論を得たシート製作につながった。

シートは事業の目的